

国語 解答・解説 第一回

正解と解説を確認してください

本演習は大学入学共通テストの過去問をもとに作成した類題です。問題文の量は過去問の約2分の1です。

第一問 対話文（文化祭の催し）

問一 正解：①

田中さんは冒頭で「今日は絞り込みたい」と明示しており、三案から一つに決めることが目的です。

問二 正解：②

「去年の三年生もお化け屋敷でした」という前置きから、他クラスと同じになることへの懸念が読み取れます。

問三 正解：①

鈴木さんは「売上が活動費になる（メリット）」「衛生管理が大変（デメリット）」と述べています。

問四 正解：①

資料より、お化け屋敷約15時間・カフェ約20時間・演劇約50時間。お化け屋敷が最短です。

問五 正解：②

「もう一度整理してから決めましょう」は議論をまとめ、次の手順を示す司会進行の発言です。

問六 正解：①

各参加者がそれぞれの案のメリット・デメリットを出し合い比較検討しています。

第二問 現代文（伊豆の踊子）

問一 正解：①

「白く染めながら物凄い早さで追って来た」という視覚的・動的な描写が迫り来る雨の緊迫感を表しています。

問二 正解：②

「二十歳」「高等学校の制帽」「一人で旅を続けて来た」から孤独な一人旅の学生と読み取れます。

問三 正解：③

「酔わせる」は自然の美しさに心が満たされる比喻表現です。

問四 正解：①

本文に「二十歳」「高等学校の制帽」「学生カバン」「一人で伊豆の旅」と明記されています。

第三問 古文（徒然草 第三百七段）

問一 正解：①

「をのみ」は「～だけを」という限定の助詞。満開・満月のものだけを見ようとする態度を批判的に述べています。

問二 正解：②

「なほ」はやはり・それでも、「あはれ」はしみじみとした感動。雨の日に月を恋いながら過ごすことにも深い趣があります。

問三 正解：③

「咲きぬべき」は「今にも咲きそうな」という意味。つぼみの状態の枝を指します。

問四 正解：①

冒頭「花は盛りに…のみ見るものかは」と問いかけ、咲く前・散った後にも趣があると論じています。

【全文現代語訳】 徒然草 第三百七段

【現代語訳】花は満開のとき、月は曇りなく輝くときだけを見るものだろうか（そんなことはない）。雨の中で月を恋しく思い、部屋に引きこもって春が過ぎていくの知らずにいるのも、やはりしみじみとした趣があって情け深い。今にも咲きそうなつぼみの枝や、散ってしおれた庭などこそ、見どころが多い。

第四問 漢文（論語 学而篇）

問一 正解：②

「学而」の「而」は「～して」という接続を表す置き字。「学ビ而」＝「まなびて」と読みます。

問二 正解：①

注に「慍＝腹を立てる」と明示。否定の「不」がついているので「腹を立てない」となります。

問三 正解：③

「人に知られなくても怒らない、それこそが君子ではないか」という文脈から、怒りを持たない徳の高い人物像が示されています。

【書き下し文と現代語訳】 論語 学而篇

【書き下し文】子曰く、「学びて時に之を習ふ、亦た説はしからずや。朋あり遠方より来たる、亦た楽しからずや。人知らずして慍らず、亦た君子ならずや。」

【現代語訳】先生がおっしゃった。「学んでそのつど復習する、なんと喜ばしいことではないか。友人が遠いところからやって来る、なんと楽しいことではないか。人に認められなくても怒らない、なんと徳のある人物ではないか。」

漢字問題

問一 正解：①

「結実」はけつじつ。努力が実を結ぶこと。

問二 正解：②

「外観」はがいかん。外から見た様子。

問三 正解：④

「響いた」はひびいた。①とどろは「轟く」の読みです。

問四 正解：①

「謙虚」はけんきょ。控えめで素直な様子。

問五 正解：①

「恩恵」はおんけい。めぐみ・いつくしみ。

問六 正解：①

「快い」は気持ちよい・喜ばしい意味。漢字は「快」。

問七 正解：①

「複雑」は入り組んでいる様子。「複」はかさなる、「雑」はまじる。

問八 正解：①

「遂行」はやり遂げること。「遂」はついに・なしとげる。

問九 正解：①

「慎重」は注意深く行動する様子。「慎」はつつしむ。

問十 正解：①

「常識」は一般的に通用する知識・判断力。